


# あかしSDGsパートナーズ取組計画書


明石市長 様

あかしSDGsパートナーズの取組計画を以下のとおり提出します。

(記入日)

2022年 1月 10日

団 体 名	ワークス大久保				T E L	0789408212			
代 表 者 名	佐藤 右京				メールアドレス	Works.ookubo@gmail.com			
目指すゴール 【複数選択可】 ※ゴール下の枠を チェックしてください									
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
									
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2030年までに達成したいこと	「住み続けられるまちづくりを」=共生社会の実現 障がいの有無にかかわらず誰もが相互に人格、個性を尊重し、支え合える明石市の実現。								
重点的な取組 (※)	【取組①】					目標値 / 達成年			
	●取組の趣旨・目的 廃棄される食材(フードロス)の削減					こども食堂等への食材提供 10箇所/2030年			
	●具体的な取組内容 地域の生産型福祉事業者より出てしまった余剰・廃棄予定の農作物について、他事業所・地域ボランティアと連携し、こども食堂や高齢者施設等へ提供することで、フードロスの削減につなげる。					該当するゴール			
						  			
【取組②】					目標値 / 達成年				
●取組の趣旨・目的 障がい者の視点から生産・流通活動体験を通してフードロスを考える。					フードロスに関する研修の実施 年12回/2025年				
●具体的な取組内容 当事業所と既存の農作業を行っている生産農家と連携し、当事業所の利用者の方に農作物生産の重要性やフードロスを学ぶ機会を設け、フードロスの問題についての理解に繋げる。 また、食材提供に伴う作業等に対する理解を深めることで、働きがいの向上につなげる。					該当するゴール				
					 				

	【取組③】	目標値 / 達成年
	<p>スポーツイベントを通じて、障がいの有無・性別・年齢など関係なくスポーツを楽しみ、互いに理解し合える関係を作る。</p> <p>●具体的な取組内容 ワークス大久保が加盟している「あかしユニバーサルフットボール連盟」の活動の中で、広く一般市民の方々や障がい者、LGBTQ+の方が参加し、相互理解を深めることができる啓発イベントを提案し、実施する。</p>	<p>啓発イベントの参加者数 延べ1200名/2030年</p> <p>該当するゴール</p> 

※必要に応じて図や画像を挿入してください。枠のサイズ変更も可能です。